

「株式会社モノクローム」への出資について

2026年4月22日

NOBUNAGAキャピタルビレჯ 株式会社

十六フィナンシャルグループのNOBUNAGAキャピタルビレჯ株式会社（代表取締役社長 峠 清孝、以下「当社」といいます。）が運営するファンドが新たに株式会社モノクローム（代表取締役 梅田 優祐、以下「モノクローム」といいます。）に出資いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

当社は、これからも、成長が期待できるスタートアップ企業への投資を通じて、地域経済と地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

記


Monochrome **NOBUNAGA**
キャピタルビレჯ

1. 本件投資情報

対象ファンド	NOBUNAGA Growing Fund 投資事業有限責任組合
出資日	2026年4月21日
出資形態	株式の引受

2. 出資について

- ・ 「未来に残したい景色を創る。」をミッションに掲げ、日本において唯一の屋根と太陽光発電セルを完全に融合させた製品を開発し、その促進に向けて取り組む姿に共感したこと
- ・ モノクロームが提供する「建材一体型太陽光パネル」と電力供給システムを併せたサービスは、建築のデザイン性を大きく変えるとともに、太陽光発電の選択肢を大幅に広げる新しいサービスになると強く期待すること
- ・ 岡崎市出身のリアルアントレプレナーである梅田氏と、海外メンバーを含めた強力なチーム体制により、国内だけにとどまらず、海外でのビジネス展開も達成してくれると強く確信すること

などの理由から出資いたしました。

3. モノクロームについて

代表者	代表取締役 梅田 優祐
所在地	神奈川県横須賀市秋谷4321
事業内容	建材一体型太陽光パネルの開発・販売、エネルギー管理システム(HEMS)の開発・提供、電力小売事業
URL	https://www.monochrome.so/

(製品イメージ)



施工事例：「AWAJI EARTH MUSEUM」(設計：MuFF)

■ モノクロームについて

モノクロームは創業以来、「未来に残したい景色をつくる」というビジョンのもと、プロダクト開発を続けてきました。

太陽光パネルは、エネルギーの民主化と持続可能化を同時に実現する唯一の優れた技術である一方で、建築物の意匠や町の景観を犠牲にしてしまう問題が置き去りにされてきました。モノクロームが開発した屋根一体型太陽光パネル「Roof-1」は、「設備として屋根に載せる」のではなく「屋根そのものになる」という設計思想から生まれました。

現在、屋根一体型太陽光パネル「Roof-1」シリーズ (black・silver・e)、外壁一体型「Wall-1」、エネルギー管理システム「Energy-1」、電力小売サービス「モノクローム電力」を展開し、エネルギーの創出から制御、そして流通までを一気通貫で提供します。

以上

【ご照会先：十六フィナンシャルグループ (広報) TEL 058-266-2511】